

授業科目	日本語教育方法論 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング			
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	溝部 エリ子							
授業概要	日本語教師の役割は何か、教師に求められる条件は何か、日本語教育の基礎となる4技能「スピーキング」「リスニング」「ライティング」「リーディング」の指導法、4技能の統合方法、テストと評価、自律的学習者を育てる方法等のテーマに関して、包括的な講義を行う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語として日本語を教える教師の資質について説明ができる。 2. スピーキングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 3. リスニングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 4. ライティングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 5. リーディングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 6. 4技能の統合指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 7. テストと評価について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 8. 自律的学習者を育てる方法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)			50				50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						50	50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語として日本語を教える教師の資質について説明ができる。 2. スピーキングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 3. リスニングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 4. ライティングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 				

		5. リーディングの指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 6. 4技能の統合指導法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 7. テストと評価について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。 8. 自律的学習者を育てる方法について、理論面と実践面の両面で、重要なポイントが説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の概要を説明し、履修方法や授業の目的、達成目安、評価の内容と方法を理解する。日本語教師の資質と自己成長の方法について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
2	スピーキングの指導1 「教室活動の流れ」「機械的ドリル」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
3	スピーキングの指導2 「コンテキストの中での練習」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
4	スピーキングの指導3 「ペアワーク」「ロールプレイ」「三つの伝達過程」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
5	スピーキングの指導4 「文脈化」「個人化」「自己表現活動」「タスク活動」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
6	リスニングの指導1 「リスニングの活動と教材」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
7	リスニングの指導2 「リスニング教材の具体例」「具体的指導法」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
8	ライティングの指導1 「文字の指導」「作文の指導」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
9	ライティングの指導2 「文章の指導」「中上級レベルの指導」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
10	リーディングの指導1 「音読」「母語への翻訳」「フレーズ・リーディング」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
11	リーディングの指導2 「速読」「多読」「読解ストラテジー」等について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
12	評価2 テストと評価の関係について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60
13	評価2 テストとバックワード・デザインの関係について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	予習: 該当部分の予習	60

14	<p>オートノミー 自律的学習者を育てる方法について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。 4技能の統合、まとめ 読む・聞く・書く・話すを統合する活動について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。この授業のまとめを行う。</p>	講義	予習: 該当部分の予習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし。			
テキスト	『成長する教師のための日本語教育ガイドブック 上巻』川口義一・横溝紳一郎(ひつじ書房)(2005)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に指示する。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none">1. 出席と積極的な参加を重視します。2. 欠席 1 回につき、「出席を含む授業態度」が 3 パーセントずつ減点されます。 欠席 5 回で自動的に不可となり、遅刻・早退は 2 回で欠席 1 回とみなされますので、正当な理由があり欠席・遅刻・早退する／した場合は、必ず届け出ておくこと3. これまでの自分の外国語学習を振り返りながら、外国語として日本語を学ぶ・教えることの面白さと難しさを、楽しみながら体験してください。4. 全て遠隔授業で行います。
達成度評価に関するコメント	「達成度評価」の「その他」は、授業への積極的参加とします。